

はじめに

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（カピックセンター*1）は、鹿児島県における国際交流、国際協力の拠点として1994（平成6）年に開設され、2006（平成18）年度からは指定管理者制度が導入されました。その当初から現在まで青年海外協力隊経験者を中心に構成されている「鹿児島国際交流協力センター*2」が管理運営を担っており、職員一同「大隅から世界へ、世界から大隅へ」をモットーに、地域の方々と外国人との相互理解・友好親善を促進するための活動を行ってまいりました。

この26年間で日本人と外国人（世界127ヶ国）、延べ286,397人の方々にご利用いただいております。国際交流を身近に感じる人々が増えていることを嬉しく思います。

近年は鹿児島県においても研修や就労目的で訪日滞在する外国人が増えており、今将来に「多文化共生社会」を実現する必要性が謳われているところであります。このような状況で、今後ますます当研修センターの意義役割が増大するものと考え、我々職員一同は地域の健全な発展のために貢献しなくてはならないと意を決しております。

ここに2019年度の事業実績を「鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターのあゆみ」としてまとめましたのでご高覧いただき、これからの当研修センターの事業に対するご助言と、引き続いてのご支援・ご協力を頂けましたら幸いです。

2020年3月31日

鹿児島国際交流協力センター
鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター
所長 児島 盛之

*1 カピックセンターは、鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（Kagoshima Asia Pacific Intercultural Countryside Center）の通称です。

*2 「鹿児島国際交流協力センター」は青年海外協力隊のOVを中心に組織された青年海外協力隊鹿児島県OB会、公益社団法人青年海外協力協会、特定非営利活動法人九州海外協力協会の3者共同体の名称です。

— 目 次 —

I カピックセンターの利用状況

2019年度利用状況	1
------------	---

II 事業実績

1 鹿児島国際交流協力センター自主事業

(1) 国際交流・国際理解

多文化体験サロン	2
カピックワールドフェスタ	3
グローバル塾	5
地球市民プログラム	9
地域リーダー育成	9
世界とつながるイングリッシュキャンプ	10

(2) 外国人研修生の受け入れ

日本語・日本文化研修	12
JICA 研修員等の受け入れ	15

(3) 地域おこし

自然体験プログラム	20
地域振興への協力	22

(4) 国際交流に関する情報提供

ホストファミリー交流会	22
各種イベントでの情報提供	22
各種情報発信	22

2 鹿児島県事業

海外学生日本語・日本文化研修	23
鹿児島県海外技術研修員基礎研修	28
ALTのための日本語・日本文化研修	30

【資料】

ホームステイ	31
カピックセンター利用風景	32
カピックセンター利用実績	34
2019年度 研修者（利用団体）	36
2019年度 視察・見学者	41
外国人の利用状況 年度・国（地域）別	42
2019年度 自主事業「グローバル塾」実績	44
新聞記事	46